

## 令和六年度 二学期 始業式 式辞

おはようございます。台風10号の影響が心配されましたが、皆さんが元気な姿で二学期始業式に参加している姿を目にすることが出来安心しています。

この長い夏休みの期間、大会や行事が目白押しでした。

まず7月21日は、「町の復興イベント」がありました。特設ステージでは本校吹奏楽部が穴水中と合同で演奏し、書道ガールズがパフォーマンスを披露しました。他にも47名の生徒がボランティアで参加し、大変暑い中でしたが皆さんの笑顔が町に勇気と希望を与えてくれたと思います。

7月30日には体験入学があり、受付、授業の補助、座談会の進行、全体会の司会等で生徒の皆さんの活躍がありました。

8月に入り、岐阜県で開催された全国総文祭弁論部門に参加した高こゆきさん（3年生）が、大舞台上で自分の意見を堂々と述べました。さらに、阪神甲子園球場で行われた第106回全国高等学校野球選手権大会開会式では、東野魁仁さん（3年生）が入場行進する球児達の先導役を務めました。甲子園誕生100年の大会で堂々と胸を張り前を向いて行進する姿は大変立派でした。

その他にも、インターンシップで勤労体験をした生徒、アントレプレナーシップで発表した生徒等、それぞれが本当によく頑張ったと思います。

そして、何ととっても先日の穴高祭です。今年は震災の影響で限られた施設・環境で、一日のみの開催となりましたが、吹奏楽部の演奏、書道ガールズのパフォーマンス、当日の企画・運営、クラス毎の出し物、模擬店の準備・販売、生徒会企画など多くの催し物に全員が参加しました。エンディングでは「青春応援団、我無沙羅」のパフォーマンスで大いに盛り上がりました。また、キッチンカーを手配していただいた保護者の支援も忘れてはいけません。そんな盛りだくさんの穴高祭でしたが、最後に白井貴子さんと一緒に全校生徒で「あの素晴らしい愛をもう一度」と「明日という名の種をまこう」（令和6年能登半島地震被災地応援ソング）を合唱した体験は、皆さんの心に一生残る良い思い出となったことでしょう。

さあ、二学期が始まります。

3年生は夏休みの間に目指す進路へ向けての準備は整いましたか。9月1日から公務員試験が始まり、民間企業の就職試験も間近に迫って来ました。進学を目指す生徒は益々勉強に熱が入ってきたと思います。3年生33名が「チーム穴高3年」で一丸となって、希望進路を達成してください。

1、2年生は夏休みをどのように過ごしましたか？一学期より一回りも二回りも心身共に成長した姿で、二学期の学習、部活動、学校行事にチャレンジしてください。昨日の自分を超え、明日につながる今日を過ごしてください。日々前進です。

最後になりますが、芸人で映画監督のビートたけし（北野武）さんを知っていますか？

たけしさんは「勉強するから何をしたいかわかる。勉強しないから何をしたいかわからない。」と言っています。特に1、2年生は早く自分の進むべき道を見つけてください。本校の先生方は、生徒一人ひとりに寄り添い、生徒が成長するために力を貸していただきます。みなさんは、先生方を信頼し、色々と相談しながら、自分の希望する進路に向け、今できる最大限の努力をしてください。90名全員で前を向いて進んで行きましょう。

以上、二学期始業式の式辞とします。

令和6年9月3日（火）  
校長 島崎 康一